

平成30年度南あわじ市防災会議 議事等概要

日 時 平成31年2月7日(木) 午前10時00分～午前11時25分
場 所 福良地区公民館 3階ホール
出席者 委員33名 出席31名 代理出席1名 欠席1名

概 要

・あいさつ(会長)

昨年は、「今年の漢字」が「災」であったように夏前から災害が多発した。阪神・淡路大震災から24年が経過し、ある意味意識の薄れは否定できない。一方で、避難所の基準の提言など災害への備えも進んでいる。今回、平成26年に修正した地域防災計画の見直しを審議していただき、市の防災力・災害対応力を上げていきたい。

議 事

・南あわじ市地域防災計画の修正について

資料1「南あわじ市地域防災計画(平成30年度案)の主な修正内容」等に基づき、今年度の修正の概要について説明 ⇒ 原案どおり了承

【主な委員意見】

今回の修正で重要なのは、平常時機能別から災害時機能別組織へ改正を行ったこと。各機関と連携しやすくなる。一方で、実際の災害対応では計画どおりにいかず、組み替える必要も出てくる。実際の運用の中で調整していく班が必要。東日本大震災では班の中で業務が手一杯になっているところもあり、各チームのリーダーが定期的な調整会議を行う必要がある。本部のレイアウトを考えると、班体制のもれなどがはっきりしてくる。

一気に理想的なところまでは難しい。各班で行っている対応をうまく情報共有できるように考えていただきたい。災害時にはメディアを通じて発信をするが、集まった情報を分析するチームも必要なので、ぜひ考えていただきたい。

臨時情報は、東側で動いたから西側もあるかもしれないということ。臨時情報に関する計画の文言が少しわかりにくいので、整理した方がよい。

報 告

「昨年を振り返って ～防災気象情報を使って早め早めの行動を～」について神戸地方気象台次長より説明および報告があった。